

# 光の

# 引力

情報通信基盤整備—

IT化が飛躍的に進んだ現代では必要不可欠  
その高度情報化社会に向けて本町も一歩を踏み出したのです  
誰しもが同じ情報やサービスを共有することができます

## 鬼北と世界を近づける光

光ファイバーの整備で得られるメリットや可能性は  
図り知れません。

例えば、▼学校でインターネットの授業がより活発に  
▼家庭では、名門塾の講義を自宅で受講▼企業がホームページを作成し、自社をPR▼インターネット通信販売による経営範囲の拡大▼告知端末を利用した独居老人の安否確認▼自宅にいなながら、医者 の診察を受ける遠隔診療—。

ごく一部の例ですが、さまざまな可能性が広がる上に、これらが全てに  
おいて容易となるのです。

鬼北にいなながら世界の情報を入手できる。また、世界に向けて発信できる。

情報や設備の地域間格差が解消されるだけでなく、人と人、行政と地域、鬼北と世界の距離がぐっと近づ

いたのです。

## まちづくりの希望の光

今回の事業は、教育環境の充実、福祉の向上、産業・商工業の振興、行政情報の発信、あらゆる分野で地域に関係なく効果を発揮することでしょう。

未知数の可能性を、いかに既知数にして、ビジネスやプライベートで活用するか。

各場面でのスタイルに合ったサービスを的確に取捨選択し、それぞれのニーズに合う使い方をすることが重要な力ギとなります。

その先には、子どもからお年寄りまで全ての人の、生活の質の向上があり、豊かで快適な暮らしを送る未来があります。

そして、それらは町の発展にもつながります。

未来のまちづくりの「希望の光」となるのです。

